

2019.1.26 津山朝日

# 76人に単位修得証書授与

## 「学校間連携」閉講式

### 津商、津工、津山東高校 他校で週1回授業

津山商と津山工、津山東の3高校の生徒が、自校にない科目を他校で受け、単位を修得する「学校間連携」の閉講式が25日、津山商業

高校（山北）であり、受講した3年生76人に単位修得証書が授与された。開講したのは、津山商の「ファイナンシャ

ルプランナー」（35人）、「ネットワーク概論」（11人）、「経済を読む」（12人）、津山東の「フ

ードデザイン」（18人）の4講座。本年度は津山商高生のみに参加で、他校や自校で通常とは違った科目の授業を昨

年4月から週1回2時間受け、2単位が認められた。

式では、開設校の校長が各講座代表に修得証書を手渡し、学校間連携委員長の三宅雄二郎、津山工校長が「1年間学んだことは地域や

広い社会で皆さんの力が発揮できる確かな道につながっていると、後輩にもこの経験を伝えてほしい」とあいさつ。受講生を代表して、忠政直己さんが「楽しく多くのことを

学ぶことができ先生方に感謝します。この授業で得た達成感や充実感はずばらしい思い出となり、私たちの精神の糧となつて今後に大きな意味を持つてくれると思います」とお礼を述べた。

その後、各講座の受講生代表が、学んだ感想や成果を発表した。学校間連携は、生徒の個性と能力を伸ばす狙いに県下で初めて平成8年から実施している。



津山商と津山工、津山東の3高校の生徒が、自校にない科目を他校で受け、単位を修得する「学校間連携」の閉講式が25日、津山商業高校（山北）で開かれた。